

日本スピリチュアルケア学会  
 人材養成プログラム認定  
 1. 基礎データ

認定年度：2021年度

組織名(和文) *必須	臨床スピリチュアルケア協会
組織名(英文) *任意	Professional Association for Spiritual Care & Health
代表者氏名	谷山 洋三
事務担当者氏名	山本 佳世子
組織所在地	奈良県天理市別所町80-1 天理医療大学 山本佳世子研究室内 電話: office- E-mail: <a href="mailto:pasch@googlegroups.com">pasch@googlegroups.com</a>
設立年	2005年
沿革	臨床スピリチュアルケア協会は、2005年4月4日に発足した。最初の研究会を関西学院大学梅田キャンパスで行い、牧師、僧侶、音楽療法士、大学院生などが参加する研究会から始まった。研究会はその後隔月で開催している。2006年夏には市立堺病院(現・堺市立総合医療センター)にて、一週間の臨地研修を開催し、以後、春と夏の年2回、病院での研修を開催している。日本スピリチュアルケア学会発足には積極的に関与し、団体会員として協力しているほか、International Council on Pastoral Care and Counseling にも登録している。
組織の目的、ミッション・ステートメント等	臨床スピリチュアルケア協会(PASCH)の目的は、2つある。第1に、臨床スピリチュアルケア専門職の養成、またその知識、技術、能力の維持向上に関する活動を行い、医療・福祉・教育等の臨床現場における全人的ケアの推進に貢献することを目的とする。第2に、国内外の関係諸団体および機関との連携をとりつつ、日本の臨床スピリチュアルケアの推進に貢献することを目的とする。

## 2. 教育担当者一覧

### 1) グループワーク、スーパーヴィジョン、演習 等担当者

	氏名 NAME	就任年	主担当科目(2科目まで)
1	窪寺 俊之 Kubodera Toshiyuki	2006年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
2	伊藤 高章 Ito Takaaki	2006年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
3	谷山 洋三 Taniyama Yozo	2006年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
4	瀬良 信勝 Sera Nobukatsu	2006年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
5	岩井 未来 Iwai Mikuru	2006年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
6	赤刎 正清 Akahane Masakiyo	2006年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
7	澤井 美咲子 Sawai Misako	2008年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
8	橋本 富美子 Hashimoto Humiko	2008年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
9	大河内 大博 Okochi Daihaku	2008年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
10	小西 達也 Konishi Tatsuya	2009年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
11	申 英子 Shin Young ja	2010年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
12	打本 弘祐 Uchimoto Koyu	2010年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
13	森田 敬史 Morita Takafumi	2007年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
14	篠田 美香 Shinoda Mika	2014年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
15	岡下 晶子 Okashita Akiko	2017年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
16	木村 登紀子 Kimura Tokiko	2016年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
17	高井 麻美 Takai Mami	2015年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
17	山本 佳世子 Yamamoto Kayoko	2015年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive
18	大村 重信 Omura Shigenobu	2019年	PSCC-Intensive PSCC-Extensive

### 2) 講義科目等 担当者

	氏名 NAME	就任年	主担当科目(2科目まで)
1	窪寺 俊之 Kubodera Toshiyuki	2006年	専門演習

2	伊藤 高章 Ito Takaaki	2006年	専門演習
3	谷山 洋三 Taniiyama Yozo	2006年	専門演習
4	小西 達也 Konishi Tatsuya	2009年	専門演習
5	申 英子 Shin Young ja	2010年	専門演習
6	打本 弘祐 Uchimoto Koyu	2015年	専門演習
7	森田 敬史 Morita Takafumi	2015年	専門演習
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

### 3. 人材養成教育領域 充当表

時間	科目名	他団体から借入科目の場合は提供団体名
＜基礎領域＞		
思想・宗教・伝統・文化 36 時間	日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的な可能性への洞察力を養う教育。	
【「宗教・伝統・文化」基礎科目】 宗教学／文化史／芸術／文学などの授業科目の大学・大学院レベルでの単位履修を通して「宗教・伝統・文化」基礎科目の既習とみなす(成績証明書等の提出が必要)。なお、必要単位の履修がない場合は、他大学の通信教育等で単位を履修する必要がある。		
心理・力動・援助 36 時間	個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会学的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターンナリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。	

<p>【「宗教・伝統・文化」基礎科目】 宗教学／文化史／芸術／文学などの授業科目の大学・大学院レベルでの単位履修を通して「宗教・伝統・文化」基礎科目の既習とみなす(成績証明書等の提出が必要)。なお、必要単位の履修がない場合は、他大学の通信教育等で単位を履修する必要がある。</p>	
<p>〈専門領域 A〉</p>	
<p>スピリチュアリティ論 24 時間</p>	<p>思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育</p>
<p>【専門演習】 スピリチュアルケア臨床を支える理論や技法について、現場の課題に則して深く学ぶとともに、参加者各自が自分自身のケア理論構築を目指す、専門職レベルの少人数演習。隔年で一回8時間(事前・事後学習含む)、年4回程度開講する。3回受講した後、まとめのレポートを提出する。 ※他の日本スピリチュアルケア学会認定プログラムを受講した場合、成績証明書等を持って時間数の充当を認める。</p>	
<p>スピリチュアルケア論 24 時間</p>	<p>援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的教育</p>
<p>【専門演習】 スピリチュアルケア臨床を支える理論や技法について、現場の課題に則して深く学ぶとともに、参加者各自が自分自身のケア理論構築を目指す、専門職レベルの少人数演習。隔年で一回8時間(事前・事後学習含む)、年4回程度開講する。3回受講した後、まとめのレポートを提出する。 ※他の日本スピリチュアルケア学会認定プログラムを受講した場合、成績証明書等を持って時間数の充当を認める。</p>	
<p>〈専門領域 B〉</p>	
<p>グループワーク  臨床スーパービジョン 60/120 時間</p>	<p>心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育  スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをとおして育成する教育</p>
<p>【PSCC-Intensive】1回あたり30時間(1週間) ・ 【PSCC-Extensive】1回あたり30時間(3ヶ月間) 臨床スピリチュアルケア師取得にはPSCC3回以上(計90時間以上)、専門スピリチュアルケア師取得にはPSCC4回以上(計120時間以上)を受講し、一定の成績を修得することが求められる。IとEそれぞれ1回以上受講することが望ましい。CSCC登録後は、学生料金で受講できる。 ※他機関で臨床スピリチュアルケア師を取得した者が専門スピリチュアルケア師取得を目指す場合にも対応できるが、時間数は個別対応とする。</p>	
<p>臨床実習 120/240 時間</p>	<p>スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。</p>
<p>【PSCC-Intensive】1回あたり20時間 ・ 【PSCC-Extensive】1回あたり20～40時間 臨床資格取得にはPSCC3回以上(計60時間以上)、専門資格取得にはPSCC4回以上(計80時間以上)を受講し、これ以外に60～160時間の個別の臨床実習を行い、計120/240時間とする。 ※PSCC以外の臨床実習については、臨床SVがない施設で実習を行う場合は40時間毎に会話記録を提出し、スピリチュアルメンター制度を利用してスーパービジョンを受ける必要がある。その時間は「継続教育」に含むものとする。</p>	
<p>〈専門領域 C〉 ※参考記載</p>	
<p>スピリチュアリティの涵養</p>	<p>援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育</p>
<p>原則としてパスク研究会(1回2時間)に参加する。ただし、スピリチュアルメンター制度(1回1時間)を受講することによって、これに充当することができる。メンター制度を受講した場合、事前レポートと事後レポートを提出し、指導を受ける(事前・事後レポート作成・提出・指導を持って2時間分とみなす)。</p>	
<p>継続教育</p>	<p>臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし、専門性を維持するための教育</p>

原則としてパスク研究会参加後にレポートを提出し、指導を受ける(1回のレポート作成・提出・指導をもって2時間分とみなす)。ただし、スピリチュアルメンター制度(1回1時間)を受講することによって、これに充当することができる。メンター制度を受講した場合、事前レポートと事後レポートを提出し、指導を受ける(事前・事後レポート作成・提出・指導を持って2時間分とみなす)。